

# 日米欧自動車メーカーの カーボンニュートラル化戦略

～BEV、eFuel、LCA、サーキュラーエコノミー、サプライチェーンの取り組みと課題～

- 主要なグローバル自動車メーカー各社の中・長期カーボンニュートラル化方針・目標を比較 !!
- eFuel 活用による ICE 車のライフサイクル CO<sub>2</sub> 削減、BEV 化優先など、各社の戦略の違いを分析 !!
- リサイクルを含むサーキュラーエコノミー確立に向けた自動車メーカー各社の戦略、最新動向を解説 !!
- CO<sub>2</sub> ニュートラルでの原材料・素材調達を含む、サプライチェーンのカーボンニュートラル化動向にも注目 !!
- 欧州 Fit for 55、日本グリーン成長戦略、米国電動化推進など、注目すべき政策動向を説明 !!

●発行：2022年2月予定 ●冊子版価格：~~198,000円~~(税込)→予約特別価格：180,000円(税込)、国内送料込 ●体裁：A4判 約100頁  
(編集上の都合により変更することがあります) (発刊前申込に限る) 簡易カラー印刷

●冊子版+報告会：455,000円(税込、開催1回、プレゼン資料付、詳細は営業部 052-789-1101にお問合せください)

気候変動抑制に向け、主要各国が2050年カーボンニュートラル化を方針化しています。自動車業界でも、原材料調達、製造、製品ユースケースから廃棄までのフルサイクルでの脱炭素化の重要性が高まっています。事業全体における炭素中立化と、リサイクル材料の積極活用や部品技術の再利用促進によるサーキュラーエコノミーの確立に向けた取り組みにコミットすることが、自動車メーカーにとって企業価値向上のために必須となっています。

FOURINは、自動車CO<sub>2</sub> LCAルールの共通化やLCA規制の長期的な導入の可能性検討を含む政策動向や、自動車各社のカーボンニュートラル化方針をまとめたマルチクライアント報告書の「LCAで加速する世界のカーボンニュートラル化」を2021年3月に発刊しました。その後、Fit for 55 (現行のユースケースベースでのCO<sub>2</sub>規制の強化を明確化) などの政策案や、メーカー各社の方針強化が続々と発表されています。このため、新たなマルチクライアント報告書の「日米欧自動車メーカーのカーボンニュートラル化戦略」を企画いたしました。注目度と重要度が高まっている、ライフサイクルCO<sub>2</sub>ニュートラル化の動向、自動車各社の戦略方針について引き続き報告いたします。BEV中心でカーボンニュートラル化を目指すのか、eFuelなどの代替燃料を活用しながら内燃機関の搭載継続と電動化を並行で進めるのか、各国及び各社により異なる戦略、方向性の違いを新たな報告書で分析いたします。また、バッテリー二次利用やクローズドループリサイクルなど、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みにも焦点を当てています。

## 主要自動車グループ各社の電動化及び代替燃料活用方針概要比較

	電動化	代替燃料活用
VW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループBEVグローバル販売比率 2025年20%、2030年50%目標</li> <li>・Audi～2033年エンジン生産終了</li> <li>・Porsche 2030年CO<sub>2</sub>ニュートラル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Porsche eFuel実証推進、ハイブリッドスポーツカーでのeFuel利用想定</li> <li>・大型車両や工業向けの水素利用が理想との考え</li> </ul>
M-Benz	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年xEV販売比率50%目標、2030年フルBEV化想定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送トラック/バス向けのFC技術活用</li> </ul>
BMW	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループBEV販売比率2030年50%</li> <li>・MINI、Rolls-Royce 2030年フルBEV化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FCEVでトヨタと協業</li> <li>・eFuelスタートアップへの出資</li> </ul>
Renault	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Renaultブランド2030年BEV販売最大90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCVプラグインFCEV</li> </ul>
GM	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年米国xEV販売比率40～50%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FCEVでホンダと協業</li> </ul>
トヨタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HEV含む電動車販売: 2030年日本 95%、北米70%、欧州100%; 2035年中国100%</li> <li>-BEV+FCEV比率: 2030年日本10%、北米15%、欧州40%、2035年中国NEV 50%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FCEV普及に向け取り組み</li> <li>・日本のエネルギー事情に配慮しつつ日系のパワートレイン技術競争力を最大限活用できる代替燃料の利用が理想との考え</li> </ul>

# 目次予定

## 序章 カーボンニュートラル化と産業競争力維持・強化

- ・EUのFit for 55, 日本のグリーン成長戦略, 米大統領のEV推進宣言など、注目すべき政策動向
- ・カーボンニュートラル化戦略, 方針の比較: BEV中心のカーボンニュートラル化, eFuelなどの代替燃料を活用しながらの炭素中立化

## 1章 自動車メーカー各社のカーボンニュートラル化方針

- ・事業全体のカーボンニュートラル化目標、長期的な方向性

## 2章 自動車メーカー各社の製品カーボンニュートラル化戦略概要

- ・ユースケース製品CO<sub>2</sub>ニュートラル化の方向性: 電動化、代替燃料(eFuel)活用

## 3章 自動車メーカー各社のサプライチェーンカーボンニュートラル化

- ・サプライヤーへのCO<sub>2</sub>ニュートラル化要求
- ・スチール、アルミなど、CO<sub>2</sub>フリー調達

## 4章 自動車メーカー各社のサーキュラーエコノミーへの挑戦

- ・バッテリー再利用や希少材料のリサイクル
- ・素材リサイクルや代替材料活用
- ・リサイクルビジネスモデル化



### <1~4章で取り上げるメーカー>

- ・VWグループ
- ・Mercedes-Benz
- ・Renault
- ・GM
- ・トヨタ
- ・ホンダ
- ・BMW
- ・Stellantis
- ・Ford
- ・日産
- ・現代自

## お申し込み方法と連絡先のご案内

FOURIN(フォーイン)のマルチクライアント調査報告書は、直販のみの取扱いとなっております。購入をご希望の方は、下記の申込用紙に必要事項を記入の上、郵便、Eメールまたはファックスにて、弊社まで直接お申し込み下さい。また、詳細な説明が必要な場合は電話にてお問い合わせいただければ、対応をさせていただきます。

世界自動車・部品産業の調査・出版



〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292 フォーインビル

TEL : 052-789-1101 FAX : 052-789-1147

https://www.fourin.jp E-mail : info@fourin.jp

申込書

「日米欧自動車メーカーのカーボンニュートラル化戦略」を申込みます。

予約特別価格: 税込180,000円(発刊前申込に限る)

冊子版+報告会: 当調査報告書の個別報告会(税込455,000円)

「日米欧自動車メーカーのカーボンニュートラル化戦略」について詳細な説明を希望します。

・お申込みをご検討いただくため、フォーインの担当者が当マルチクライアント調査をオンラインコミュニケーションツール Microsoft Teamsや電話などで個別に説明します。

(株)フォーイン 行 フリーダイヤル Fax: 0120-0000-73

年 月 日

御社名

御利用部署名

〒

御住所  
(送付先)

TEL 番号

FAX 番号

E-mail address

(フリガナ)  
御担当者氏名

御役職

通信欄